

蓄光

— 蓄光とは —

蓄光とは、太陽光や人工照明の光をエネルギーとして蓄積し、その蓄積したエネルギーが放出され光を出す現象をいう。突然電気が消えたときに暗闇下で光って見えることから避難誘導標識などに多く用いられている。

主な材料は、硫化亜鉛(ZnS系)及びアルミン酸ストロンチウム(SrAl₂O₄系)があり、繰返して使用でき基本的に劣化がない。この光をりん光といい、りん光材利用を用いた標識を蓄光標識という。

光を蓄め込み発光することから我が国では蓄光という言葉(*¹)が使われている。

*¹ 昭和初期に藤木顕文氏(日本夜光塗料製造所)が書いた夜光塗料説明書の中の種類の中に登場している。